

オレオレ詐欺などが多発



長野県内において特殊詐欺の被害が多発しています。平成26年6月末現在で県内での特殊詐欺件数は94件。被害額は5億円を超えています。過去最悪だった昨年を大きく上回るペースです。特殊詐欺非常事態宣言が発令されています。茅野警察署管内では、「4件」「約4千万円」の被害が発生しています。特殊詐欺により逮捕された犯人が警察の取り調べに対してこう言ったそうです。「電話に出てくれて話さえできればいくらでもだませる。」

【だまされないために、まずできることは・・・】

●留守番電話設定

相手を確認してから電話に出られます。また、「詐欺の電話を避けるため、留守番電話にしています」等と設定してください。

●ナンバーディスプレイ

相手の電話番号を確認してから出られます。契約している電話会社に相談してください。(原則は知らない番号に出ないことです)

●非通知電話拒否設定

契約している電話会社に相談してください。(犯人の多くは非通知でかけてきます)

●特殊詐欺対策用機器

専用機器があります。家電小売店などに相談してください。



- 携帯電話の番号が変わった。 ○誰にも言わないでほしい。 ○大事なカバンをバス(電車)に忘れた。
- 今日中に急いでくれ。 ○株を購入しないか。 ○必ず儲かります。 ○現金をゆうパックで送って、宅急便で送って。 ○あなたは懲役刑か罰金刑になる。 ○現金を警察官(銀行員)へ預けてください。
- ロト6などの宝くじの当選番号を教える。 ○名義を貸してほしい。 ○パンフレットが届いていないか。

このような言葉は詐欺の可能性がります。犯人は言葉巧みにだましてきます。また、振込金額には日額の限度があるため、現在は振り込みよりも宅急便やゆうパックで現金を送らせたり、犯人が自宅まで取りに来たり、犯人に届けさせ手渡しをさせるなど多種多様化しています。

まずは落ち着いて、必ず誰かに相談をしてください。相談することで詐欺だと気が付き、被害に遭わなかった例もあります。

平成26年富士見町内犯罪件数（1月から7月末暫定値）

空き巣	忍び込み	出店荒らし	自転車盗	車上狙い	部品狙い	万引き	器物損壊
1件	10件	2件	1件	2件	1件	14件	3件

【富士見町内でも空き巣や忍び込み、車上狙いと言った犯罪が発生しています】

- 夜間就寝中や短時間の外出でも家の鍵をかける。
- 車内にお金や貴金属などの大切なものはおかない。
- 当たり前のことを当たり前にして被害に遭わないように注意してください。

【女性や子どもを狙った被害も発生しています】

- 防犯ブザーがいざという時にしっかりと鳴るかどうかが、日頃から確認しておきましょう。
- 不審車を見かけたら警察への通報をして、ナンバーを控えるように心がけましょう。ナンバーや車種、車の色などが犯人逮捕の決め手となります。ナンバー、車種や色など覚えるように心がけましょう。
- 犯罪者は声をかけられることを嫌います。あいさつをされたり声をかけられると「見られているな」という気分になり、その場を立ち去ったりする心理になるそうです。普段からあいさつをすることを心がけましょう。
- 女性や子どもを地域みんなで守りましょう。

【インターネットサイト（出会い系サイト、ID交換掲示板サイト等）での被害が全国で多発】

- インターネットサイトで知り合った人とは絶対に会わない。
- インターネット接続可能なゲーム機で被害に遭うケースもあります。
- 被害は女子だけでなく男子も被害に遭うことがあります。
- 「うちの子は大丈夫」が一番危険。身近な犯罪という意識を家族全体で持ち、子どもたちを犯罪から守りましょう。

※ちなみにアメリカではオレオレ詐欺という犯罪はないそうです。男性でも頻繁に「ハイ! マミー」と電話をするからとのこと。日本では、昔から「便りのないのは良い便り」という文化がありますが、家族で連絡を取り合うことで絆が深まり特殊詐欺の被害防止につながるかもしれません。また、家族内で合言葉を決めるのも被害に遭わないための手段のひとつです。



問 長野県警察本部（警察安全窓口） ☎#9110 茅野警察署 ☎82-0110
消費生活センター（消費者ホットライン） ☎0570-064-370
松本消費生活センター ☎0263-40-3660

—消費者見守り情報 No.45—

個人情報保護をかたる詐欺注意!

「個人情報を削除してあげる」と公的機関をかたる詐欺が急増しています。

7月初旬に大きなニュースになり皆さんもご存じのこととは思いますが、通信教育大手の「ベネッセコーポレーション」からの大量の個人情報が流失したことがありました。このニュースを利用していると思われる詐欺が増加しているそうです。そこで、個人情報の削除をうたう詐欺の手口の一例をお伝えします。

「生活保護センター」を名乗る人から「あなたの個人情報が3か所に漏れている。2か所は取り消せたが、1か所（A社）だけは取り消さない。代理人を立てる必要がある。」という電話があり、ボランティア団体の人が代理人になってくれることになった。すると、A社から連絡があり、自分に振られている番号を教えられた。その後、代理人から「書類に書くのに必要。」とその番号を聞かれ教えたところ、A社から「番号を他に教えたのは違法行為になるため、社員が逮捕された。あなたが保釈金1千万円払うように。」と求められ、宅配便で現金を送った。と言う事例がありました。

- ・ このように公的機関等をかたり「個人情報が漏れているので削除してあげる。」などと持ちかけ、最終的にはお金をだまし取る手口が急増している。
- ・ 個人情報の削除を持ちかける電話は詐欺です。相手にせず、すぐに電話を切ってください。
- ・ 一度お金を支払ってしまうと取り戻すことは極めて困難です。絶対に支払ってははいけません。

少しでもおかしいと思ったら、役場や消費生活センターに相談をしてください。

問 住民福祉課 住民係 ☎62-9112 長野県松本消費生活センター ☎0263-40-3660